

クラス別研修をご存じですか？

みなさんは「クラス別研修」という制度が平成25年度から実施されていることをご存じだろうか？新入会員は必ず知っているけれど、ひょっとしたらベテラン会員には知られていないかもしれないクラス別研修について、その元受講者と指導者に集まってもらい、感想や意義について語る座談会を行ったので、その様子をレポートする。

当会会員 平岡 敦 (55期) ●Atsushi Hiraoka

I クラス別研修の概要

クラス別研修とは、新入会員に弁護士としての最低限の実務知識を付けていただく趣旨で、新入会員に対して行われている研修である。66期の新入会員から実施されている。新入会員を15から20名程度のクラスに分け、クラスごとに

- ・担任1名（経験6～15年程度の会員）
- ・副担任1名（経験3～10年程度の会員）
- ・相談役1名（ベテラン会員）

を配置している。

指導期間は、入会時期である1月から11月までほぼ1年にわたり、合計7回の研修が実施される。具体的なカリキュラムは **図表1** のとおりである。なお、受講は義務となっている。

クラス別研修は単なる研修ではない。終了後には、担任、副担任、相談役も参加して（必須ではない）、懇親会も開かれている。それが、新入会員同士の交流や、ベテラン会員や先輩会員から新入会員へのアドバイスの場ともなっている。

昨今は、ともすれば弁護士会と会員間の関

係が希薄になる傾向がある。しかし、このような制度を通じて、新入会員が弁護士会との関係を継続するきっかけが生まれることも期待されている。

図表1に記載された「基礎研修」は、民事事件の法律相談、相続事件、交通事故事件、労働事件など、多くの弁護士が必然的に関与することになる事件について、弁護士の視点でどのように処理すればいいかを学ぶものである。教材は、研修センターが作成したものを統一的に使用している。

なお、当会が設けている新入会員向けの援助制度には、クラス別研修以外にも、下記のような制度がある。

- ・指導担当弁護士制度（即独・早独の方向けのOJT）
- ・はなさき記念館（即独・早独の方向けの事務所スペースの提供）
- ・フレッシュ士業交流会（税理士、司法書士など他士業との交流の機会の提供）
- ・協力弁護士推薦サービス（専門知識に乏しい弁護士にベテランの協力弁護士などを推薦）

図表1 カリキュラム



II 座談会の模様

出席者 幸村 俊哉 (46期)
 草原 敦夫 (66期)
 小山 友太 (66期)
 在原 一志 (65期)
 司 会 宮島 渉 (64期)

宮島 本日は、66期のクラス別研修で同じクラスに属していた3名の若手の先生と、その時の相談役であり、クラス別研修の創設にもかかわった幸村先生にお越しいただきました。先生方に、当時のクラス別研修の様子をお聞きするとともに、その意義や問題点についてもお話しただければと思います。

まず自己紹介をしていただいた上で、クラス別研修の感想等についてお話していただけますか。まずは私から。

64期の宮島です。私は、研修センターの嘱託として、クラス別研修の創設にかかわり、カリキュラムの設定やクラス分けなど制度を具体化する作業をやりました。単に集まって研修をするというのではなく、弁護士同士の交流の場にしたかったので、研修の後に必ず懇親会を設定したり、クラスごとのメーリングリストを作ったりしました。



宮島 渉会員

幸村 46期の幸村です。この制度は私が二弁の副会長のときに創設されたものです。軒弁、即独、インハウス、自治体勤務など弁護士のあり方が多様化して、新入会員の、弁護士としての基本的なスキルやマインドの習得機会にばらつきが生じているのに加えて、同

期同士や弁護士会同士の絆や、弁護士会とのつながりがどんどん希薄になっていっている現状を食い止めようと考えて、この制度を企画しました。



幸村 俊哉会員

草原 66期の草原です。まっさきに思い浮かぶ感想としては、素晴らしいというのがまずあります(笑)。研修の内容としても、ソクラテスメソッドで弁護士としての基本的な素養について分かりやすく教えていただいて、非常に勉強になりました。夜の懇親会でも違う事務所の異なる業務内容の人たちの話が聞けたし、担任、副担任、相談役の先生方のお話も自分の将来を考える上で有益なものでした。

在原 65期の在原です。私が入会したときにはこの制度がなかったので、1年間実務をやった後に、1つ下の期のクラス別研修をあえて受けました。私は弁護士3名の事務所に所属していたのですが、小さな事務所だと本を読む以外に相談する人がいない、相談する機会が少ない、という悩みがありました。本当にこの案件の処理はこれでいいのかと悩みつつ仕事をしていく中で、この研修に参加することで基礎的な事柄を学べたので、その後、安心して業務に臨むことができました。

それから裁判所で同じクラスの人に出会ったりすると、不安が和らいで、ここはアウェーじゃないなと思うことができたりもしました。

小山 66期的小山です。司法修習の期間が短くなって、修習中に基礎的な事件に触れることができない場合があります。僕の場合、司法修習を通じて交通事故事件と労働事件に

触れたことはありませんでした。しかし、こういった事件の知識というのは、弁護士として当然身に付けておきたいものだと思います。そういった知識や弁護士としての総合的な力を身に付けられる研修があるというのは、非常に有益だなと感じました。

幸村 いろいろな人からも感想を聞きますが、よかったという話が多いですね。宮島先生などのスタッフが頑張ってくれたおかげで、できたばかりにしては制度の完成度が高いというのが僕の感想。あとはクラス内のつながりをもう少し。それには課外授業的なところが増えるといいのかもしれないですね。講義にだけは出るけれども、クラスにはなじまない人ってどうしても出てきますが、そういう人こそ、こういう場でつながりを作ってほしいですね。

宮島 今日ご参加いただいた元受講生の先生方も、事務所のタイプや働き方は三者三様ですが、そういう人たちが交流できるところが、クラス別研修のよい点ではないかと思えます。

次に個々のカリキュラムについてお聞きしたいと思います。最初にクラスごとに集まったバズセッション*1はどうでしたか。

小山 バズセッションは、そのテーマがどうかというより、クラスの顔合わせとしての意味が大きいと思います。どんなキャラクターの人が集まっているんだろうかと。

幸村 自己紹介シートを作って、自分で似顔絵を描いてもらったりしましたね。

草原 自己紹介というとおり一遍のものになりがちですが、あのシートがあると突っ込みどころが分かって便利でした。

在原 私のクラスでは、弁護士会の法律相談件数の減少について議論するというテーマだったと思います。弁護士会に対する興味を持つきっかけになりました。

草原 やはり議論好きの人が多から、それ自体楽しかったと思います。

宮島 全体研修の後は、例年、新規登録弁

護士歓迎会が行われていますが、これもクラス単位で行いました。バズセッションである程度クラスのメンバーと話ができ、その流れで歓迎会に参加できるので、例年より懇親が進んだのではないかと思います。また、歓迎会の際は、各クラスに、事前に記入してもらった自己紹介シートのコピーを配布し、話のきっかけにってもらうようにしました。ちなみに、クラスのメンバーで今もつながりがある人は、どれくらいの数になりますか。

小山 10人弱くらいですかね（一同うなずく）。

幸村 20人弱のクラスで、10人くらいと交流が続いていれば充分じゃないですか。

小山 研修があると、だいたいその後懇親会の飲みに行って、徐々に仲よくなって顔も覚えていく。

宮島 基礎研修のテーマとして、「民事事件の相談から解決まで」、「相続事件の基礎」、「交通事故事件の基礎」、「労働事件の基礎」の4つを取り上げましたが、これはどうでしたか。

在原 私は小さな事務所でやっていますから、一通りどれでも扱えなければならない事件なので、現実に必要なテーマにしっかり合致していたと思います。



在原 一志会員

草原 離婚事件なんかもあったらいいと思いました。

幸村 離婚は企業法務をやっている来ま

*1 バズセッションとは、クラスをさらに4~5人の班に分け、班単位で特定のテーマについて議論してもらうもので、1月の全体研修において実施される企画である。

すからね。

草原 一番よかったのは相続。担任は長谷川卓也先生だったのですが、すごく実践的なことを教えてもらいました。



草原 敦夫会員

小山 労働もよかったですね。基礎的なところを労働法の体系から教えてもらえました。例えば正社員と契約社員というのが、それぞれ法律上どういうふう位置付けられるのかといった基礎的なこともです。

在原 「民事事件の相談から解決まで」というのが、すごく理解しやすいなと思いました。最初に電話を取るところから始めて、ロールプレイで体験できるような構成になっていました。

宮島 「民事事件の相談から解決まで」は、基礎研修1回目なので、アイスブレイクしてもらうことと、発言しやすい環境を作るという目的がありました。あとは電話対応やビジネスマナー等を学んでいただくという狙いもありました。特に大きな事務所所属の先生などですと、電話に出たことがない、という方もいらっしゃるでしょうし。

次に各基礎研修後の懇親会はいかがでしたか。

草原 担任の先生から営業の仕方を聞いたり、今までのキャリアの話や聞いたり。同期同士では、まあバカ話がメインでしたね（笑）。

幸村 事件についての悩みなんかは、話したりしないんですか。

草原 そういう話もしましたね。

在原 記憶に残っているのは、担任の先生から教えてもらったことです。経営者の視点

に立って、この事件を何時間で処理するといくらペイできて、年取いくら欲しいんだったら、そこから逆算して、できるだけ細かいスケジュールを立てることを意識した方がいいよと教えていただいて、すごいなと思いました。

小山 僕はいつも懇親会に参加していましたが、来ない人はいつも来ないので、交流の幅が広がらないところがありましたね。いつも来る人とは仲よくなって、別の機会でも会ったりするようになりましたが。



小山 友太会員

宮島 課外企画も立ててもらいましたね。

草原 士業交流会とハロウィンパーティーをやりましたね。仮装したりして。私はキョンシーでした。でも、キョンシーは食事がしにくくて失敗でした（笑）。

宮島 事務所見学の企画も多かったようですね。担任、副担任、相談役の先生の事務所に行ったりして。

幸村 去年は初心者ゴルフ研修というのもしやりました。初心者をコースに連れて行ってレッスンするのですが、カッコいいボールの刺し方とかも教えたりして（笑）。 ■

